

「腹腔鏡手術基本手技の習熟度の数値化の試み及び、その値の学習者へのフィードバックの教育効果に関する観察研究」に参加された皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）」に基づいて実施されています。今回、先行研究で得られた情報を追加で利用させていただくことになりましたのでお知らせいたします。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 腹腔鏡手術基本手技の習熟度の数値化の試み及び、その値の学習者へのフィードバックの教育効果に関する観察研究

[研究代表機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究代表者所属・氏名] 北海道大学病院泌尿器科・安部 崇重

[共同研究機関]

市立札幌病院	田中 博
北海道がんセンター	原林 透
札幌厚生病院	日岡 隆矢
札幌北辰病院	松田 博幸
KKR 札幌医療センター	土屋 邦彦
KKR 斗南病院	町野 倫太郎
手稲溪仁会病院	下田 直彦
勤医協中央病院	鈴木 龍弘
仁楡会病院	松村 欣也
北海道泌尿器科記念病院	飴田 要
江別市立病院	佐藤 聡秋
小樽市立病院	山下 登
岩見沢市立病院	片野 英典
苫小牧市立病院	竹内 一郎
旭川厚生病院	堀 寛太
帯広厚生病院	佐澤 陽
函館中央病院	鈴木 英孝
市立釧路病院	森田 研
釧路労災病院	佐々木 芳浩
名寄市立病院	山下 孝典
日鋼記念病院	榎並 宜裕
市立千歳市民病院	新藤 純理

[研究の目的]

ブタ臓器モデルを用いた腹腔鏡手術トレーニングにおいて、鉗子操作や手術手技を客観的

2026年6月10日（第1.0版）

に評価し、熟練者と学習者の特徴を明らかにすることを目的としています。また、得られた評価結果を学習者へフィードバックすることで、より効果的な手術教育方法の開発を目指します。

[研究の方法]

○対象となる方

実施許可日から2030年3月31日までの間に、本研究へ参加した北海道大学病院および関連病院に所属する医師ならびに北海道大学医学部の学生

○利用する情報

研究参加時に取得した下記情報に加えて、先行研究「腹腔鏡手術時における鉗子動態の測定に関する観察研究（承認番号：CERIA023-004-2）」にも参加された方については、当該研究で取得されたカダバートレーニング時の鉗子動態情報も本研究で利用させていただきます。

氏名、年齢、性別、医師経験年数、腹腔鏡手術経験症例数、ロボット支援手術経験症例数、腹腔鏡手術技術認定医取得の有無、トレーニング中の動画、鉗子動態情報（鉗子先端位置、移動距離、回転角、組織把持時の圧力、術者姿勢等）、主観的精神的作業負荷評価（NASA-TLX）、手術技能評価結果（OSATS、GOALS）、教育効果に関するアンケート結果

○送付方法

本研究で取得する情報は、トレーニング実施時に研究代表機関である北海道大学病院において収集し、管理・解析を行います。そのため、共同研究機関から北海道大学病院への情報の送付はありません。

[研究実施期間]

実施許可日～2033年6月30日（登録締切日：2030年3月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院（研究代表機関）の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院泌尿器科 担当医師 安部 崇重

電話 011-706-5966

FAX 011-706-7853